

序言

東洋文庫中国古代地域史研究班

本書は上巻を受けて編集され、『水経注疏』巻一九、すなわち「渭水」篇の後半部分の訳注である。東洋文庫での例会として講読会をもったこと、そのテキストや講読会での報告者がその部分の訳注を執筆したこと、および訳注の底本については上巻と同じである。しかし、講読会に参加して本書編集に携わった者には若干の出入りがあり、本書では左記の一三名である。

池田雄一、太田幸男、窪添慶文、塩沢裕仁、多田狷介、藤田忠（以上東洋文庫研究員）、石黒ひさ子、市来弘志、大知聖子、兼平充明、高津純也、村松弘一、山元貴尚（以上研究協力者）

各訳注への修正・補充と表記・表現の統一など全体のまとめを担当したのは池田であり、窪添・多田がそれを補佐した。地図の作成には塩沢が中心となった。

本書編集にあたって三回の海外出張による調査を行った。第一回は二〇〇九年三月上旬に台北市、第二回は同年八月下旬に上海市・杭州市・紹興市、第三回は同年一二月下旬で西安市を中心とする地域であった。第一回では中央研究院歴史語言研究所長（当時）の王汎森氏、第二回では浙江大学終身教授の陳橋駅氏、第三回では陝西師範大学西北歴史環境与经济社会发展研究中心主任の侯甬堅氏にそれぞれ丁寧な御援助と御協力をいただいた。ここに心からの感謝の意を表したい。なお、これら三調査の内容については本書中にそれぞれ報告文を掲載した。

また本書には、訳注を理解するために、窪添と池田による解説文を掲載した。

本書刊行にあたっては、東洋文庫研究部の瀧下彩子・中村威也・片野竜太郎の各氏に多方面にわたる御援助・御協力をいただいたことに感謝申し上げます。

平成二十三年三月

（太田幸男記）